

北陸新幹線の中央要請を実施

敦賀までの早期完成・開業などを要望

9月17日(火)、西川知事や吉田県議会議長をはじめ、沿線市町、経済界などの代表者が、北陸新幹線の早期完成に関する中央要請を実施。敦賀までの1年でも早い完成と開業の実現や、県内事業者の受注機会の確保・増大、敦賀以西の若狭ルートでの早期決定を、国土交通省や与党に要望しました。

西川知事は、「敦賀までの完成を、一年でも早くお願いしたい」と述べ、太田国土交通大臣は、早期完成・開業について理解を示しました。



丹南総合公園 オープン

スポーツ、レクリエーションの会場に



9月21日(土)、県が越前市余田町で建設を進める丹南総合公園において、野球場と多目的グラウンドが先行オープン。記念イベントとして、県学童野球大会を開催しました。

野球場は3500人が観戦できる広さで、照明設備を備え、プロ野球BCリーグの公式戦にも利用されます。23日(月・祝)には、「越前の日」と銘打ち、福井ミラクルエレファントの試合が行われました。

多目的グラウンドはサッカー1面、ソフトボールなら2面の利用ができます。

今後は、体育館や芝生広場、全天候型球技場などの平成26年度の完成を目指して、整備を進めます。

台風18号による災害復旧に全力で対応

気象庁初、「大雨特別警報」が発表



野木川の堤防が16日に破堤。18日の夕方に仮復旧完了(若狭町下野木)

大型の台風18号が本県を襲い、9月16日(月・祝)の未明から朝にかけて、嶺南を中心に激しい雨が続きました。午前5時5分には、運用開始以来初めてとなる「大雨特別警報」を気象庁が発表。県内で大きな被害が発生しました。

9月17日、西川知事は、災害復旧に関する中央要請を実施。翌18日には、西村内閣府副大臣を団長とする19名の政府調査団が来県し、被災地の現状を視察しました。

県は県道常神三方線の通行止めの解消、美浜丹生の土砂崩れの対策など、一日も早い復旧に向けて、全力をあげて取り組んでいます。

秋篠宮ご一家 来県

“恐竜王国”ふくいを満喫

8月10日(土)、秋篠宮ご一家が来県し、勝山市にある恐竜博物館を訪問されました。これは、西川知事のご招待が実現したものです。

秋篠宮ご一家は、恐竜博物館で25年にわたる県の恐竜発掘の成果を披露する特別展を見学されました。悠仁さまは、フクイラプトルの全身復元骨格の組み立てを体験。“恐竜王国”を満喫されました。

恐竜博物館は、9月1日には今年度の来館者数が、過去最短で40万人を突破。夏休み期間の来館者数も過去最高を記録するなど、大きな注目を集めています。



福井の里地・里山・里海湖の魅力国内外にアピール

「SATOYAMA国際会議2013 in ふくい」(9/8~14)を開催

里山の保全と活用について考える「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ第4回定例会合」(IPSI-4)には、約30か国から68団体、124人の政府関係者や研究者等が参加し、開催されました。

定例会合では、世界の里山の保全と活用のための行動計画を承認し、次回の開催地を韓国の平昌に決定。公開フォーラムでは、「地域の視点」をテーマにIPSI加盟団体による取り組み発表や、参加者によるグループディスカッションを2日間にわたって実施。最後に、IPSI事務局、福井県、環境省の三者により共同声明を発表しました。



世界の里山の保全と活用について行動計画を審議

会合参加者は、県内17市町で福井の里山を体験、三方五湖等の現地視察なども行いました。

定例会合を含む「SATOYAMA国際会議2013 in ふくい」を通じて、福井の里地・里山・里海湖の魅力国内外にアピールしました。



海外の研究者が福井の里山の暮らしを体験(大野市)



各国参加者が水田魚道などを現地視察(若狭町)



地元の高校生がメッセージを発表

合わせて開催された「福井子ども環境教育フォーラム」では、県内小学生が活動成果を発表しあい、大人も含めた活動の大切さを提言。全国「里の達人」サミットでは、全国各地で先進的な取り組みを行っている団体の事例発表が行われました。最終日の県民シンポジウムでは、国際会議の成果を振り返るとともに、地元高校生が未来の里山に向け「みんなで楽しみながら活動し、明るい未来を手に入れよう」とメッセージを発表しました。

この国際会議の開催により、本県の豊かな里地・里山・里海湖を再認識し、次世代に引き継ぐ意識を持つ機会となりました。

県は、10月に、若狭町の縄文プラザに「里山里海湖研究所」を開設。生物多様性の確保と豊かな暮らしの承継につなげるための研究、教育、実践を行います。



国内の推進組織「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を設立

さらに、福井での国際会議開催にあわせ、国内の推進組織を設立。設立総会では、発起団体代表の石川県知事とともに、西川知事が挨拶。今後、福井・石川両県知事が共同代表を務め、国内の企業や民間団体、研究機関、行政などで交流・連携・情報交換等を図り、里山の保全や利用の取り組みを全国的に進めていきます。